

主要ゴムの耐薬品性

表中◎・○・△・×の記号は、次のように耐薬品性の性能を示します。

◎：殆んど作用されない優秀なもの ○：少しは作用するが使用に差支えないもの
△：ある程度侵され推奨し難いもの ×：著しく侵され使用できないもの

品名(濃度・温度)	天然ゴム	イソブレンゴム	ブタジエンゴム	スチレンゴム	ブチルゴム	エチレン・プロピレンゴム	クロロブレンゴム	クロロスルホン化ポリエチレン	エビクロルヒドリンゴム	ニトリルゴム	アクリルゴム	ウレタンゴム	チオコール	シリコンゴム	フッ素ゴム
アセトアルデヒド	△	△	△	×	◎		△-×	×	×	×	×		△-×	◎	
酢酸 [10.RT]	△			△	△		△	×		△	×	×	△	○	○
アセトン	△			△	○	○	○-△	△	○	△-×	△-×	×	○	○-△	×
アセチレン	◎	◎	◎	◎	◎		◎-○	○	◎	◎			○-△	○-△	
アンモニア(無水)	◎			◎	◎		◎	○-△		◎			◎	◎	×
水酸化アンモニウム(アンモニア水)	◎-○	◎-○	◎-○	◎	◎	◎	◎-○	◎		◎-○	×		×	◎	◎
アミルアルコール	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	○	○		○	◎	△-×	◎
アニリン	△	△	△	△	◎		△	△	×	×	×	×	×	○	○
アニリン染料	○	○	○	○	◎		○			×			×		
アスファルト	×	×	×	×	×		◎-○	○		◎			◎	◎-○	◎
硫酸バリウム	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎				◎-○	
ベンゼン(ベンゾール)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	△-×	△	○
塩化ベンゼン	○-△	○-△	△	△	◎		×		×	×			×		
臭素	×	×	×	×	×		×	△		×			○-△	△	◎
ブタン	×	×	×	×	△		◎-○	◎-○	◎	◎-○			○	×	
酢酸ブチル	△	△	△	△	○	○	×	×	×	×		△	○	△	×
ステアリン酸ブチル	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎			◎		
水酸化カルシウム	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎			◎	○	
炭酸ガス	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎			◎	◎	
四塩化炭素	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	△	△	○	×	◎
ひまし油	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎			◎	◎	
クロム酸 [2.70]	×			×	◎	◎	○	◎		×			×		◎
[10.70]	×			×	△	△	×	○		×			×		◎
クレゾール	×	×	×	×	△-×		△-×	△	×	△-×	×		×	○-△	◎-○
シクロヘキサノン(アノ)	△	△	△	△	○	○	△	×	×	×	×	△	○	△	×
ジベンジルエーテル	×	×	×	×	◎		×		×	×			×		
ジブチルフタレート	×	×	×	×	○	◎	×	×	×	×	×		◎		○
ジエチルエーテル	×	×	×	×	△	△	△	○-△	○	○	×	◎-○	◎	×	△
酢酸エチル	△	△	△	△	○	○	△	△	○	△-×	△	×	○	△	×
脂肪酸	△	△	△	△	×		◎	◎-△	◎	◎		◎	×	○	
ぎ酸 [25.RT]	△			△	◎		◎	◎		×	×		×		
フレオン21	×	×	×	×	○-△		△-×		×	×			×	○-×	
ガソリン	×	×	×	×	×	×	◎-○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○-△	◎
塩酸 [20.RT]	○			○	◎	◎	○	◎		○	○		○	○	◎
[38.RT]	△			△	○	○	△	○		△	×		×	×	◎
過酸化水素 [5.RT]	×			×	◎	◎	○	◎		×			×	◎	◎
硫酸化水素	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎			○		
ハイドロキノン	◎	◎													
乳酸	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎			×		
亜麻仁油	○			○	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎
メチルアルコール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	△		◎	◎	○
錳油	×	×	×	×	×	×	○	△	◎	◎	◎		◎	○-△	◎
ナフサ	×	×	×	×	×		○	△	◎	◎-○		○	◎-○	○-△	◎
硝酸 [10.RT]	×			×	◎	◎	△	◎		×		×	×		◎
[30.RT]	×			×	○	○	×	○		×		×	×		◎
[61.3.RT]	×			×	×	×	×	×		×		×	×		◎
[発煙.RT]	×			×	×	×	×	×		×		×	×		○
りん酸 [75.RT]	○			○	◎		◎-○	◎		◎-○	×		×		
プロパン	×	×	×	×	×		◎	◎	◎	◎	◎		◎	○-△	
力性ソーダ [30.RT]	◎			◎	◎	◎	◎	◎		◎	×	×	◎	×	△
亜硫酸ガス	○	○	○	○	◎		○-△	△		○-△			×	○	
硫酸 [10.RT]	◎			◎	◎	◎	◎	◎		◎	○	○	○		◎
[30.RT]	◎			○	◎	◎	◎	◎		◎		×			◎
[98.RT]	×			×	△-×	△	×	△-×		×		×	×	×	◎
[発煙.RT]	×			×	×	×	×	×		×		×	×	×	◎
亜硫酸	◎	○	○	○	○		◎-○	◎-○		○				○	
トルエン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△-×	×	△-×	△	×	○
トリエタノールアミン	◎	◎	◎	◎	◎		◎-○	◎	×	◎			◎-○	◎	
キシレン	×	×	×	×	△	×	×	×	×	△-△	×	△	○	×	◎

注意 ゴムの耐薬品性は濃度、温度、時間、ゴムの配合などの変化によって相違するものです。たとえば温度が50℃までは○であるが、それ以上では△であり、また濃度50%までは○であるが、それ以上になれば△であるという問題がありますので、この表は各種ゴムの耐薬品性としての概念的なものです。

環境対応
Eシリーズ
合成ゴムシート
天然ゴムシート
シリコンシート
フッ素シート
用途・機能別
制振ゴムシート
複合ゴムシート
極薄ゴムシート
参考資料